

第61回 西日本フォトコンテスト

- ◆ 応募規定 題材：自由。
種類：単写真・組み写真
組み写真は3枚以内で番号をつける。(横組みの場合は、左右も記入のこと)
サイズ：モノクロ・カラーともに四ツ切り(ワイド四ツ切りも可) デジタルはA4も可。(データでの応募は不可)
- ◆ 応募資格 応募は西日本写真協会会員・大学生以下の部と一般応募者。会員と大学生以下の部は無料。
一般応募者は1点につき1,000円の出品料が必要。(出品料は現金書留または、定額小為替で下記送り先に郵送か、下記口座へ振込)
加入者名：西日本写真協会 口座番号：01730-4-3214
- ◆ 応募要領 招待作家(本コンテストで過去3回優秀賞以上に入賞した者)は応募できない。
トリミングや明るさ調整、色調整、比較明合成(星空、ホタル撮影等)の画像処理は可。その他の合成や削除、アートフィルターを使ったレタッチは不可。
応募点数に制限はないが、未発表の作品に限る。(5年以内に撮影された作品)
西日本写真協会支部例会で選出され、紙面掲載された作品および支部の作品展に展示された作品は西日本フォトコンテストへの出品は可能である。ただし他のコンテストには出品できません。また他コンテストに入賞した作品は応募不可。
組写真ではその中に前記の撮影期間内のものを最低1枚含むこと。
応募作品の裏面に応募票(住所、氏名、電話番号、画題、撮影データ、撮影年月日、会員番号、地区・支部名を明記)を張り付ける。(会員は必ず会員番号と地区・支部名を記入すること。会員番号がない場合、出品料を請求することがあります。)特に撮影データ(カメラ、レンズ、フィルム感度、デジタルのISO感度、絞り、シャッタースピードなど)は詳細に記入すること。
撮影の際、必ず被写体となる人の同意を得ること。
入選以上の作品の使用権は主催者に帰属し、同意なしでは使用できない。優秀賞以上は原板・データを提出すること。
当コンテスト応募の封筒に年会費、出品料などの現金や、公開審査申込のハガキ、「読者の作品」の写真など同封しないこと。
作品の返却を希望する方は、封筒の表に「返却希望」と明記し、応募票に印をつけること。選外作品のみ着払いにて返却する。(応募作品の整理上、返却は5月中旬予定。それ以前の返却は出来ません。来社されての返却も受け付けていません。ご了承の上、ご応募ください。)
- ◆ 締め切り 令和3年2月28日(日) 消印有効
- ◆ 送り先 〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館10階
西日本新聞イベントサービス内『西日本フォトコンテスト』係
西日本写真協会事務局 TEL 092-711-5491
- ◆ 審査・発表 3月8日(日) 主催者で公開審査を行い、4月中旬に西日本新聞紙上で発表。(入賞者には個人通知)
公開審査参加希望の方は、はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、上記係へ送付。
(2月26日(金)必着、応募多数の場合は抽選で参加証を送付) コロナウイルス感染症対策やその他の理由でやむをえず、公開審査を中止にし、審査員のみで審査を行う可能性があります。
- ◆ 表彰 最優秀賞 1点 西日本新聞社・西日本写真協会賞(賞状、賞金20万円、ブロンズ) 副賞(ギフトカード5万円分)
優秀賞 8点 西日本新聞社・西日本写真協会賞(賞状、賞金3万円、ブロンズ) 副賞(ギフトカード1万円分)
特選 20点 西日本新聞社賞(賞状、賞金1万円、タテ)
入選 50点 西日本新聞社賞(賞状、タテ)
大学生以下の部 優秀賞1点(図書カード20,000円分) 次点3点(図書カード5,000円分)
表彰式は西日本写真協会総会で行う。

主催 西日本新聞社、西日本写真協会

きりとり線

第61回 西日本フォトコンテスト応募票					
ふりがな	写真種類				返却希望
画題	単 組(枚組)				の場合はを
ふりがな	どちらかに				
氏名	会員・一般 大学生以下の部				
住所	〒 TEL 市 区 郡				
撮影データ	カメラ	レンズ	感度	撮影年月日	
	絞り	シャッタースピード	秒	会員番号	地区・支部名
審査通過	一次	一次	二次	最終決選	

第61回 西日本フォトコンテスト応募票					
ふりがな	写真種類				返却希望
画題	単 組(枚組)				の場合はを
ふりがな	どちらかに				
氏名	会員・一般 大学生以下の部				
住所	〒 TEL 市 区 郡				
撮影データ	カメラ	レンズ	感度	撮影年月日	
	絞り	シャッタースピード	秒	会員番号	地区・支部名
審査通過	一次	一次	二次	最終決選	